



2021

2024

tsumikiの使い方
tsumikiの取り組み

tsumikiの歩みと役割

tsumikiは、2016年11月JR利府駅前に誕生した公共施設です。これまでに約38,000人の方にご利用いただき、2020年には、まちづくりの主体となる新たな人材を育成するための拠点としての実績が認められ、グッドデザイン賞を受賞。まちづくりの拠点として歩みを進めてきました。

このたび、tsumikiの役割や、まちに与えた影響を一枚のペーパーにまとめました。当たり前のサービスから、意外と知られていない機能まで、決して大きな施設ではありませんが、使い方は多様です。tsumikiのいろいろな顔を知ることができる——それはまるで「手引きのようなもの」です。これまで利用された方はもちろん、これからtsumikiを使ってみたいと考えている方にも役立ていただけます。

tsumikiは「出発駅」

tsumikiは、チャレンジャーにとっての終着駅ではなく、出発駅です。「何かを始めたい」「何かを形にしたい」——そんな想いを持つ方々が施設を活用し、次のステップへと進んでいく。tsumikiは、その挑戦を後押しする場所です。

駅にはたくさん人が集まり、それぞれの目的の駅に向かって電車に乗り込みます。施設を利用する方が、自分の目指す活動をする中で、時に壁にぶつかり、行き先に悩むことがあったら、またtsumikiという駅に立ち寄り、事業や活動を振り返り、見つめ直す機会として活用してください。

tsumikiは、いつでもあなたのチャレンジを応援しています。



公式ウェブサイト

rifu-tsumiki.jp

X

@rifu_tsumiki

Facebook

<tsumiki>で検索

Instagram

@rifu_tsumiki

tsumikiペーパー「手引きのようなもの」
【発行日】2025年3月31日 【発行】利府町 【企画】一般社団法人Granny Rideto 【編集】葛西淳子・桃生和成 【デザイン】Intargire(伊瀬谷美貴)

1

働く

ワークスペース

ワークスペースは、起業・創業、市民活動などの相談の場として、個人・団体を問わず、だれでも使用することができます。書類づくりや少人数の打ち合わせなど、仕事場として利用できます。



テーブルやイスは、フレキシブルに移動でき自由に組み合わせて使用できます。

使用料

ワンドリンク付き

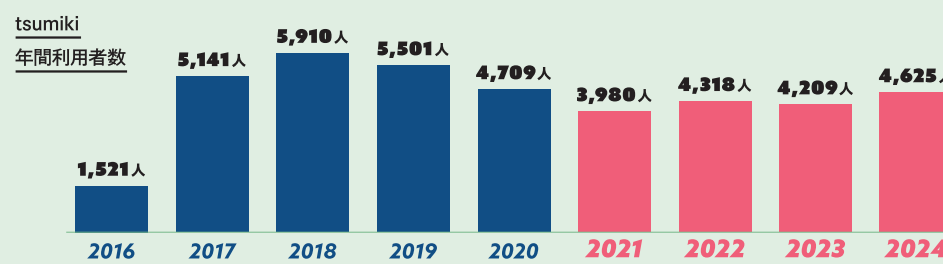
3時間未満 250円
3時間以上 500円

フリーWi-Fi有り／電源有り／コピー複合機(有料)

入館のみは無料*

※小学生未満の利用、委託販売等の購買のみの入館、各種相談のための入館、その他座席を使用しない一時的な入館は無料です。

TSUMIKI DATA



2

くつろぐ

カフェスペース

施設を利用するには、カフェスペースでコーヒーなどの飲料をサービスしています。カフェスペースで、ゆったりくつろぐ場として、電車やバスの待ち時間に、コンサート開催時にグランディ21へ来場する方の休憩の場として利用できます。



メニュー

HOT / ICE

●スタンダードブレンドコーヒー
●リッチブレンドコーヒー
●紅茶
●緑茶
●ルイボ스티ー

●ココア
●カフェオレ
●抹茶オレ
●カルピス
●レモネード

※メニューは変更することがあります。

Usage Type	Percentage
3時間利用	69%
4年間の総利用人数	17,132人
委託商品購入	14%
相談	8%
1日利用	6%
出店	2%

利用者は、新型コロナウイルスによる休館などの影響で一時的に減少しましたが、その後は4000人程度の横ばいで推移。また、利用方法としては、3時間未満の利用が70%近くを占め、特にワークスペースや少人数打ち合わせなどの利用が目立ちます。

施設の使い方は、多種多様です。意外と知られていない機能もあり、使い方が分かれれば、できることも広がります。ワーク・カフェスペース、交流、販売、相談など上手に使い分けたり、組み合わせてみたり。実現したいことに合わせて活用すれば、やりたいことを形にすることができます。

4

売る_1

直接販売

使用料

1日1㎡あたり 500円

※利用する際はスタッフと事前相談が必要

直接販売スペースは、利用者の活動の場を提供しています。商品販売、ワークショップ、少人数の講座、写真撮影会、利用者主催のマルシェなど、さまざまな分野の方がいろいろな用途で利用しています。小売の一步を踏み出す実践の場として、店舗をもっていない方が定期的に出店できる場として活用しています。

●利用事例

5

売る_2

委託販売

使用料

食品の場合 売上の10%
物品の場合 売上の15%

委託販売スペース「tsumikiセレクトショップ」では、利府町の特産品や菓子、陶器、アクセサリなどを制作販売する小売事業者の中でも起業を目指す方が出品し、事業を広げる機会としています。前後期の2回に出品者を募集し、10店舗前後が常設展示販売を行っています。委託品の中には、利府町ふるさと納税の返礼品として採用されている商品もあります。

●利府の特産品「こ・みやげ」

刈安染め、利府焼、利府梨カレー、利府の逸品 など

●小売起業チャレンジ

焼菓子、コーヒー、アクセサリ、キャンドル など

3

交流する

利府町や周辺地域の人々が自由に交流し、新しい仕事やまちづくりのアイデアが生まれる場として、tsumikiは開かれてきました。交流の場ができたことで、埋もれていた人材が発掘され、新たな価値や動きが生まれています。さらに、tsumikiの得意とする「妄想会議」という手法から、ユニークな取り組みも生まれました。

●利府を観る、知る、そして語らう(2021年)

利府の先輩たちが培ってきた地場産業を「若い世代につなぐたい」という想いから、町内で事業を営む3人の経営者が発案者となり、歴史や文化、産業を通して町を活躍させるため、人々がつながり語らう場をつくりました。全3回の開催で、町内外からのべ76人が集いました。

●tsumiki交流パーティー(2024年)

日頃からtsumikiを利用している方々や、利府町で活動する事業者・団体、個人やフリーランス、新たに活動を始めた方が40人ほど集まり、交流パーティーを開催しました。対面で話す機会が少なかった方や「はじめて」の方同士も、思い思いに交流し、親睦を深める場となりました。

●利府レガシーになるイベントを創ろう(2022年)

利府町観光プロモーターの利府町地域おこし協力隊の李さんとともに、妄想会議を行いました。利府町内を中心に学生からシニアの方まで13人が参加し、活発な議論を展開。その結果、「おもしろく遊べるウォークラリー」を企画し、実施する運びとなりました。

6

相談する

起業経営の相談

CASE_01

開業・移住

アトリエジェルメールブルー

起業相談、直接利用を定期的に活用

利府町に移住し、フラワーアレンジメント教室や花育講座を開業。花育を通じて花の魅力を伝え、子育てと自分時間を両立できる環境づくりを目指す。tsumikiの直接販売を利用し、定期的に講座を開催するなど実績を積み独自の仕事を獲得しています。

市民活動の相談

CASE_03

女性・子育て

ゆるっとナチュラル育児の会

団体の立ち上げ、イベントの始め方、企画の仕方などを相談

小売事業者が集まる市民活動団体。tsumikiのこ・あきない市や新生業塾、委託販売を活用し、制度が充実した利府町で、さらに子育てがしやすい環境づくりを目指す。マルシェイベントやおさがり会、子育てサロンを企画・実施しています。

CASE_02

開業・シニア

古着物のリメイク あたらさ

新生業塾受講、委託販売などを活用

タンスに眠っていた着物の想い出を受け継ぎ、現代に合う服へリメイクする受注スタイルを確立。スタッフと経営相談を繰り返し、事業を拡大し、2023年に開業届を申請。地元ミュージアムの舞台衣装や経営者のパーティ衣装も手掛けています。

CASE_04

学生・若者

マチドリンク

団体の運営、イベントの企画の仕方、マッチングなどを相談

利府町ジュニアリーダーを経験した大学生が中心となり、町を盛り上げる学生団体を結成。交流会でキーパーソンとつながり、「スカイランタンをあげる」イベントを企画・実施。実績が評価され、チャレンジアワード2024で優秀賞を受賞しました。

相談件数
年間約**300**件

起業案件数
54件
(法人登記・開業届
屋号での活動)

新たな
まちづくり団体
5団体

起業・創業やNPO・市民活動に関する相談を常時行っています。

